

# 豊穰のときを彩る、 美しい住まい

## 理想の場所を探して、 日本中を旅した日々

「僕は遊び人間。でも、仕事もきっちり。人に負けず、異動があってもよくよせず、行った先が俺の華だと、常に前向きに頑張ってきました」。澁刺と話し始めたT様のご主人。出版社経営の傍ら、若い頃から、釣り、山歩き、自転車、コーラス、絵画、写真など、幅広い趣味を楽しんできたという。リタイア後の生活を意識し始めたのは、18年前のこと。「仕事も、遊びも、とことん調べ、分析した上で、綿密な計画をたて、実行していくのが僕のスタイル。会社でも、『待っててはだめ、計画しなさい』と事あるごとに社員に言い続けてきました。そして、リタイア後の暮らしについても、まずはリサーチから始めよう」と。責任ある立場としてウィークデーは多忙を極める一方、休暇が取れると愛車のキャンピングカーJ・L520で、奥様とともに全国を訪ね歩いた。「凝り性で、一度始めるととことんまで突きつめる性格の主人ですから、北海道から中国・四国地方まで、本当にいろんな所を見て回ったんですよ」。心魅かれる場所はたくさんあった。そこから、地の利や環境、お子さん達の希望、そして日々の暮らしに欠かせないおいしい食材：さまざまなポイントで絞り込んだ結果、残ったのが八ヶ岳山麓と山中湖だったという。

お子様方や趣味のお仲間、お友達やかつての社員など、多くの方が訪れるT様邸。この夏も多くの方がこの部屋に泊まったという。「天窓から星を眺めながら一杯やるのも最高ですね」(ご主人)。



木の香ただよう美しい家で、  
趣味を楽しみ、庭を造り、  
ときおり訪れる家族や仲間と  
賑やかなひとときを過ごすお二人。  
ご褒美のような時間は、  
まだ、始まったばかり。



仕事に、子育てにと、  
全力で頑張り、走り続けた日々の先で、  
やがて誰もが手にするであろう、  
愛する人との豊穰のとき。  
天然のパインで作られた本物の木の家が、  
その大切な時間を、  
鮮やかに彩っていく。

広々としたリビングの一角には、まだ火を入れたことのない薪ストーブの姿も見える。「もうすぐ薪ストーブの生活が始まると思うと、胸がワクワクしてくるんですよ」と奥様。





ホンカの展示場で、  
『本物の木の家』を  
体感してみてください。

<http://www.be-born.jp/>



営業時間：10：00～17：00  
定休日：水・木曜日（祝日は営業）  
アクセス：東富士五湖道路山中湖ICより8分



ホンカ富士北麓 株式会社ビ・ボーン  
〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村山中350-1  
TEL.0555-28-7561

CHECK POINT

エントランス  
正面に設けられた、  
美術館のようなスペース

大きな鯛の絵を飾るために  
創出した、美術館のような雰  
囲気のある場所。天然のパイン  
材は絵画や書を引き立てる  
絶好の背景ともなり、訪れる  
人の目を楽しませてくれる。



家の裏側にも広々としたテラスを設置。表側とはまた違った高原の風景が楽しめる。



HOUSE DATA

- 所在地 山中湖村
- 家族構成 夫婦
- 間取り 2LDK
- 竣工 2012年5月

いま、  
幸せのオーラに包まれて

今年6月に入居したT様ご夫妻。  
「今年の夏は本当に快適でした。高原  
とはいえ、日中は日差しが強く気温  
も上がるのですが、家の中に入ると  
スッと爽やかなんですね。フィトン  
チッドと呼ばれる木が発する匂い  
や、ログ材の柔らかな模様も心地よ  
く、この家にはいるだけで、心が安ら  
ぎ、心身共にリラックスできるん  
です。これからはこの家で、家内と一  
緒に、ゆっくりと自然と対峙しながら  
生きていきたい」と語るご主人の横  
で、満ち足りた表情を浮かべている  
奥様。幸せのオーラがお二人を包み  
込み、見ている私まで幸せな気持ち  
になった。

山中湖への移住を  
決意させた  
ビ・ボーンとの出会い

その一方で、リタイア後はログハウ  
スに住みたいとの思いから、ご主  
人は関連書籍を読み漁り、お二人で  
現地見学会や体験宿泊にも参加して  
いた。「HONKAは最高峰のログ  
ホームだということで、山中湖にあ  
るデザインセンターを訪れたのが一  
昨年1月。ビ・ボーンスタッフの皆  
さんにもてなしていただいて心も体  
も暖かくなりました。以来、何度も  
通い、小俣さんや平井さんの人柄、宮  
下社長の熱いハート…、いつ行っても  
会社自体がイキイキとしていて気持  
ちがいい。ビ・ボーンさんと出会えた  
ことで、すべてが一つにつながって、  
ここに住もう、ビ・ボーンさんにすべ  
てお任せしよう！と決断しました。」  
こうして始まったT様の家づく  
り。「クラシカルなライアというモデ  
ルを、二人でゆったりと過ごす家へ  
とアレンジしてもらったことにしまし  
た」。お二人の要望は、部屋や浴室、  
トイレなど、すべてを広めに設定す  
ることや、大切にしている大きな絵  
を飾るための場所を作ることなど。  
「ビ・ボーンさんはしっかりと落とし  
込んで素晴らしい形に仕上げしてくれ  
ただけでなく、この地で快適に暮ら  
すための細かい配慮もしてくれた。  
おかげで、これからの人生を過ごす  
ための、最高の家が出来ました。」



1階の奥にあるご夫妻の寝室。“これから”を考えると、  
普段の生活は1階で完結するように設計されている。



2階のホールにはソファを置いてセカンドリビングに。  
まるでプチホテルのような雰囲気。



玄関の外に広がる美しい庭園は、この夏、ご主人が作ったもの。



モダンで機能的なキッチン。